

実務経験のある教員等による授業科目一覧【歯科衛生学科】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
口腔衛生学Ⅰ	1	井上 真紀		
口腔衛生学Ⅱ	1	久保田 浩三		
歯科衛生士概論	1	錦織 亜矢		
歯科臨床概論	1	竹原 直道		
保存修復学	1	世良 優裕		
歯内療法学	1	藤元 政考		
歯周治療学	1	久保田 浩三		
歯科補綴学	1	大楠 弘通		
口腔外科学	1	鶴島 弘基	早川 真奈	西牟田 文香
歯科麻酔学（救急蘇生含む）	1	左合 徹平		
小児歯科学	1	森川 和政		
高齢者・障害者歯科疾患論	1	柿木 保明		
矯正歯科学	1	郡司掛 香織		
歯科口腔放射線論	1	小田 昌史		
歯科予防処置論Ⅰ	1	下野 あゆみ	錦織 亜矢	
歯科予防処置演習Ⅰ-A	1	錦織 亜矢		
歯科予防処置演習Ⅰ-B	2	下野 あゆみ	錦織 亜矢	
う蝕予防処置論	1	下野 あゆみ		
歯科予防処置演習Ⅱ	3	下野 あゆみ	五十嵐 比奈子	
歯科予防処置論Ⅱ	2	下野 あゆみ		
歯科保健指導論Ⅰ	2	錦織 亜矢		
歯科保健指導論Ⅱ	2	五十嵐 比奈子		
歯科保健指導演習Ⅰ-A	1	錦織 亜矢		
歯科保健指導演習Ⅰ-B	1	五十嵐 比奈子		
歯科保健指導演習Ⅱ-A	1	五十嵐 比奈子	錦織 亜矢	
歯科保健指導演習Ⅱ-B	1	八丁 亜由美		
歯科保健指導演習Ⅱ-C	1	五十嵐 比奈子		
歯科保健指導論Ⅲ	2	五十嵐 比奈子	錦織 亜矢	
歯科保健指導演習Ⅲ	2	五十嵐 比奈子		
歯科診療補助論Ⅰ	1	中島 紀子		
歯科診療補助演習Ⅰ-A	1	中島 紀子		
歯科診療補助演習Ⅰ-B	2	中島 紀子		
歯科診療補助論Ⅱ	1	井上 真紀		
歯科診療補助演習Ⅱ	2	中島 紀子		
歯科診療補助論Ⅲ	1	中島 紀子		
歯科診療補助演習Ⅲ	1	中島 紀子		
医療事務論	1	五十嵐 比奈子		
看護学	1	杉山 恵子	出光 真弓	
臨床検査法	1	井上 真紀		
臨地・臨床実習Ⅰ	8	錦織 亜矢		

実務経験のある教員等による授業科目一覧【歯科衛生学科】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
臨地・臨床実習Ⅱ	12	下野 あゆみ		
総合講義	4	邵 仁浩	大楠 弘通	郡司掛 香織
		久保田 浩三	藤元 政考	鶴島 弘基
		森川 和政	井上 真紀	柿木 保明
		下野 あゆみ		
介護技術概論	1	柴田 仁子		
介護技術演習	1	柴田 仁子		
摂食嚥下・口腔機能訓練法	1	藤井 航		
特別教養	1	五十嵐 比奈子		
合 計	77			

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
	○											
授業科目名	生物					担当者名		松山 佳永				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する											
到達目標	①細胞をつくる主要な元素を説明する ②体細胞分裂・減数分裂の仕組みを説明する ③外部刺激の受容の仕組みを説明する ④ホメオスタシスについて説明する ⑤ホルモンの役割を説明する											
成績評価	記述試験											
その他	松山 佳永 (実務経験なし)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 生物学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	総論
2	細胞
3	細胞の活動
4	細胞の一生
5	個体のなり立ち 1
6	個体のなり立ち 2
7	個体のなり立ち 3
8	個体のなり立ち 4
9	まとめ・演習 1
10	生殖
11	遺伝子
12	刺激の受容と反応
13	ホメオスタシス
14	ホルモン
15	まとめ・演習 2

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科						
	○				情報処理		担当者名		上野 景子		
授業科目名	情報処理				担当者名		上野 景子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	基本的なパソコン知識と情報モラルを身につけ、仕事や生活において正しく効果的にインターネットを活用するための知識を習得する。Office (Word・Excel・PowerPoint) の基本操作を学び、就職先での様々な業務にスムーズに従事できる技術と実践的な活用方法を身につける。※情報モラルやセキュリティについての講義およびタイピング練習は、毎時間の中で適宜行う。										
到達目標	①基本的なパソコン知識と情報モラルを身につけることができる ②Office (Word・Excel・PowerPoint) の基本操作を身に付け実践的に活用できる ③作成した資料をプレゼン発表ができる。										
成績評価	授業ごとの課題提出、授業への熱意と態度、プレゼン発表										
その他	上野 景子 (実務経験なし)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	コンピュータの基礎知識 <Windowsの基本操作、タイピングの基本>、Word文章入力
2	Word① <基本の使い方、ページレイアウト、図の挿入等>
3	Word② <表の挿入等>
4	Word③ <文書作成>
5	Excel① <基本の使い方、表の作成、簡単な計算>
6	Excel② <関数、グラフ>
7	Excel③ <表・関数・グラフを使った文書の作成>
8	PowerPoint① <プレゼンテーションとは・基本操作>
9	PowerPoint② <掲示物の作成>
10	PowerPoint③ <アニメーションの設定>、発表する内容・構成の検討
11	PowerPoint作成 (発表資料作成) ①
12	PowerPoint作成 (発表資料作成) ②
13	PowerPoint作成 (発表資料作成) ③
14	発表 プレゼン発表 (前半) 1人3分
15	発表 プレゼン発表 (後半) 1人3分

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
	○			授業者名		井浦 ひとみ			
授業科目名	コミュニケーション学			1年次		2年次		3年次	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数			20	
授業概要	対面式授業をし、一人一人コミュニケーションをとりながらプリントを中心に進めていく。常に楽しい授業を心がけ、コミュニケーションを円滑に進めるには、相手を尊重する気持ちや相手への思いやりが大切である。「相手を思いやる気持ち」を形にしたマナーを指導する。								
到達目標	①相手を尊重する気持ちや相手への思いやりを身につけることができる ②「相手を思いやる気持ち」を形にしたマナーを説明できる								
成績評価	テスト点、平常点（出席率、発表、提出物）を総合して評価点をつける。								
その他	井浦 ひとみ（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	ビジネスマナー基本テキスト	キャリア総研 吉田元治	日本能率協会

回数	授業計画
1	第1編 ビジネスマナーとコミュニケーションの基本 1. キャリアと豊かな仕事生活 1-1. 働くということ 1-2. 仕事への取り組み方
2	2. ビジネスマナーの基本 2-1. ビジネスマナーは社会人としての基 2-2. 職場でのコミュニケーション
3	2-3. 円滑なコミュニケーションのために 2-4. 社会人としての身だしなみ
4	3. 就業中のマナー 3-1. 入社から退社までの基本ルール 3-2. 工作中的態度や行動
5	3-3. 感じの良い挨拶 3-4. おじぎの基本とお客さまとの接し方
6	練習問題（模擬テスト）
7	4. 指示の受け方と報告・連絡・相談 4-1. 支持を受け話を聞くポイント 4-2. 中間報告、相談、忠告の受け方
8	5. 話し方の基本 5-1. 印象が良くビジネスにふさわしい話し方 5-2. ビジネスの場にふさわしいことばづかい
9	5-3. プレゼンテーションの基本と自己紹介 練習問題（模擬テスト）
10	まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科							
	○			心理学		担当者名		菅 典雄			
授業科目名	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
授業形態	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数						20					
授業概要	心のマネジメント、深層心理、人間関係、呼吸とリラクゼーション										
到達目標	心のマネジメント、深層心理、人間関係、呼吸とリラクゼーションを理解できる										
成績評価	期末試験の成績による										
その他	菅 典雄 (実務経験なし)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	心理学入門
2	心理学の歴史
3	知覚と認識 (1)
4	知覚と認識 (2)
5	深層心理 (1)
6	深層心理 (2)
7	友人・家族との人間関係
8	職場における人間関係
9	自律訓練法
10	呼吸と瞑想

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科							
	○			外国語		担当者名		工藤 和男			
授業科目名	外国語			担当者名		工藤 和男					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					30						
授業概要	「人体の器官」では人体の機能をつかさどる各器官の英語表現を、「英作文演習」では医療現場で使用される英語表現を学習する。本学習により医療従事者にとっての英語表現の基礎を習得させる。										
到達目標	①各器官の英語表現を習得できる ②医療現場で使用される英語を習得できる										
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。										
その他	工藤 和男 (実務経験なし)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	看護英語の基本用語と表現	著者 円城寺康子/川越栄子	メジカルビュー社

回数	授業計画
1	人体の器官1 (人体の各部位と臓器)、英作文演習 医療現場での英語1 (外来)
2	人体の器官2 (心臓/肝臓)、英作文演習 医療現場での英語2 (病棟案内-1)
3	人体の器官3 (消化器官/消化酵素)、英作文演習 医療現場での英語3 (病棟案内-2)
4	人体の器官4 (膵臓の働き)、英作文演習 医療現場での英語4 (食事)
5	人体の器官5 (脳/耳)、英作文演習 医療現場での英語5 (排泄)
6	人体の器官6 (小腸と大腸)、英作文演習 医療現場での英語6 (入浴)
7	人体の器官7 (目/副腎)、英作文演習 医療現場での英語7 (睡眠)
8	人体の器官8 (皮膚の構造)、英作文演習 医療現場での英語8 (病歴徴収-健康上の習慣)
9	人体の器官9 (腎臓)、英作文演習 医療現場での英語9 (病歴徴収-排泄)
10	人体の器官10 (呼吸器/血管)、英作文演習 医療現場での英語10 (病歴徴収-手術、薬、病状)
11	人体の器官11 (口/歯/食道)、英作文演習 医療現場での英語11 (血圧検査/体温検査)
12	人体の器官12 (脊髄/末梢神経)、英作文演習 医療現場での英語12 (血液検査/尿、便検査)
13	人体の器官13 (体循環/血管)、英作文演習 医療現場での英語13 (投薬)
14	人体の器官14 (三大疾患)、英作文演習 医療現場での英語14 (注射、包帯)
15	人体の器官15 (免疫システム)、英作文演習 医療現場での英語15 (体位)

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科							
	○			授業者名		得本 啓次					
授業科目名	生涯健康スポーツ論 I			担当者名		得本 啓次					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。 適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。										
到達目標	①日本の生涯スポーツの現状を理解し説明できる。 ②児童期、高齢期の運動指導の重要性が理解でき指導できる。 ③生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得する。										
成績評価	レポート30%、試験70%										
その他	本講義は生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得を目指す 得本啓次（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本 他	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人国際学園

回数	授業計画
1	生涯スポーツ概論 生涯スポーツと健康、生涯スポーツ・トレーナーの役割
2	リハビリテーション デジタルリハビリの活用
3	トレーニング法 ウェイトトレーニングの指導法と実践
4	スポーツ心理学 カウンセリング、人間の心身発達理論
5	スポーツ心理学 コミュニケーションスキル種類を理解し、方法論を学び指導に繋げる
6	マネジメント マネジメント、マーケティング戦略を理解し健康社会の貢献
7	トレーニング法 イメージトレーニングの基礎知識とマインドセット
8	トレーニング法 イメージ結合法の理解と実践
9	トレーニング法 イメージトレーニングの実践、発表
10	解剖生理学/運動指導 子どもの身体の特徴と子どもの運動指導
11	解剖生理学/運動指導 高齢者の身体の特徴と高齢者の運動指導
12	運動指導 パーソナルストレッチ理論
13	運動指導 パーソナルストレッチ実践
14	運動指導 背骨コンディショニング理論 3要素
15	運動指導 背骨コンディショニング実践

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
	○											
授業科目名	生涯健康スポーツ論Ⅱ					担当者名		得本 啓次				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業は主に実技指導を中心に行う。生涯スポーツトレーナー（アドバンス）の資格取得を目指す											
到達目標	①日本の生涯スポーツの現状を把握する。 ②様々な生涯スポーツ、生涯運動を理解し実施できる。 ③健康寿命の延伸のための知識を理解する。 ④生涯スポーツトレーナー（アドバンス）の資格取得する。											
成績評価	レポート30%、試験70%											
その他	開講の順番は変更する可能性があります。得本啓次（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本 車いす フィットネストレーナー教本 他	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集 他	学校法人国際学園 他

回数	授業計画
1	運動指導 ウォーキングが心身に及ぼす影響を多面的に理解と実践
2	運動指導 ストレッチの理解と実践
3	生涯スポーツ 健康寿命延伸の要因の理解
4	生涯スポーツ 疲労回復へのアプローチ
5	運動指導 ティーボール コンプライアンス、ルール、審判方法、指導法
6	スポーツ医学 筋膜リリースと疲労回復
7	スポーツ医学 筋膜リリースのセルフマッサージ
8	運動指導 ティーボール 実践 捕る投げる打つの基礎動作
9	運動指導 ティーボール 実践 試合形式練習と試合運営
10	心理学 より良い人間関係を築くための心理学
11	生涯スポーツ ZERO100プロジェクトの考え方と取り組み
12	障がいスポーツ 障がいスポーツの歴史、車いすの種類と仕組み
13	障がいスポーツ 障がい者のトレーニング適応と実技指導
14	障がいスポーツ 自走式車いすの試乗 校外
15	栄養学 5大栄養素、エネルギー代謝

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	解剖学					担当者名		野代 悦生				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	人体の構造と形態を中心に機能および臨床との関連において教授する。											
到達目標	①人体の構造と機能を説明できる②細胞、組織の基本構造を説明できる③骨の機能と構造について説明する④生体を構成するおもな筋を説明できる⑤食物が消化・吸収される経路を理解できる⑥消化管と消化液の基本構造を説明できる⑦循環系について説明できる⑧神経系を分類し、各神経系の解剖学的特徴を説明できる⑨呼吸器の構造と機能を関連づけることができる⑩感覚受容器の構造について理解できる。⑪腎臓の構造と循環系との関係を説明できる。⑫内分泌腺種類と構造を説明できる。⑬男女の生殖器の構造を概説できる。											
成績評価	中間テスト、期末試験で評価する。											
その他	野代 悦生（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ（人体の構造と機能1）解剖学・組織発生学・生理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	人体解剖学	藤田恒太郎	南江堂

回数	授業計画
1	解剖学概説
2	骨格系
3	筋と運動
4	消化・吸収
5	循環（血液・心臓）
6	動脈系・静脈系
7	リンパ系
8	中間テスト、解説
9	神経系
10	呼吸
11	感覚器
12	排泄
13	内分泌
14	生殖
15	総まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	生理学					担当者名		吉岡 香絵				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	人体を構成する各要素のその個々の機能とメカニズムについて理解する											
到達目標	①神経細胞の興奮と伝導のしくみを説明できる。②腎臓の働きを説明できる。 ③体循環と肺循環について説明できる。④呼吸器の構造と機能を関連づけることができる。 ⑤体温調整について説明できる。⑥性周期に関わるホルモンの名称と作用を説明できる。⑦体性感覚の性質、種類および特徴について概説できる。⑧自律神経の特徴を説明できる。											
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。											
その他	吉岡 香絵(実務経験なし)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	細胞の基本的な機能, エネルギー代謝
2	神経細胞の興奮と伝導, 筋の収縮
3	体液の生理機能, 腎機能
4	体液の循環 (心臓, 血液循環)
5	呼吸の機序とその調節系
6	熱産生・放熱、体温の調節と変動
7	中間試験
8	内分泌
9	生殖
10	消化と吸収
11	感覚機能
12	運動機能
13	高次脳機能
14	自律機能
15	まとめ (国家試験形式による練習問題)

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	生化学					担当者名		古株 彰一郎				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	科学技術の急速な進展とともに近年医療が高度化し、バイオマーカー、遺伝子診断、分子標的薬、個別化医療などに代表されるように、多くの疾患の病態・検査・治療が細胞レベル、分子レベルで語られるようになってきた。そこで、これからの未来を歯科医療人として生きていくために、人体が営む生命現象を細胞レベル・分子レベルで理解し、歯と口腔を中心に学習していく。											
到達目標	①細胞の構造や細胞小器官の働きを理解する②細胞内で起こる代謝について理解する。 ③アミノ酸を材料としてタンパク質が合成される過程を理解する④結合組織を構成する細胞を説明する ⑤石灰化の仕組みを説明する⑥唾液中の無機質や有機質の種類を列挙する											
成績評価	筆記試験											
その他	古株 彰一郎（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 生化学・口腔生化学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	生体の構成要素
2	細胞と細胞内小器官および酵素
3	消化と吸収、糖質代謝その1
4	糖質代謝その2、脂質代謝
5	タンパク質とアミノ酸代謝
6	遺伝子とDNA複製・修復
7	転写、翻訳、修飾
8	免疫の遺伝子
9	結合組織
10	歯の無機成分と有機成分
11	石灰化のしくみ
12	唾液の生化学
13	情報伝達（サイトカイン・ホルモン）
14	がんの生化学、細胞周期、アポトーシス
15	国家試験対策

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	組織発生学					担当者名		松山 佳永				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							20					
授業概要	ヒトの顕微鏡レベルの構造と、人体の発生の仕組みについて学習する。											
到達目標	①発生における減数分裂の意義を説明できる ②三胚葉性胚盤と外胚葉、内胚葉、中胚葉から発生する主要な組織を列挙できる。 ③原腸形成と消化管の発生を説明できる④神経管形成と神経系の発生を説明できる ⑤鰓弓の形成と顔面の発生を説明できる⑥歯と歯周組織の発生を説明できる。											
成績評価	記述試験											
その他	松山 佳永 (実務経験なし)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ解剖学・組織発生学・生理学 / 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	人体の発生
2	顔面と口腔の発生
3	歯と歯周組織の発生
4	歯の構造 1
5	歯の構造 2
6	歯の構造 3
7	歯周組織の構造 1
8	歯周組織の構造 2
9	口腔粘膜
10	舌・唾液腺

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	口腔解剖学					担当者名		松山 佳永				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	口腔解剖学では、頭頸部の骨、筋、脈管、神経などの構造を学習し、歯科医療に必要な解剖学的な知識を習得していく。											
到達目標	①口腔の範囲と各部位の名称を説明できる ②口腔を構成する骨を説明できる ③頭頸部の筋と作用を説明できる ④口腔周囲の脈管と神経の種類を説明できる ⑤唾液腺、咽頭と喉頭の構造を説明できる											
成績評価	期末試験により評価を行う。											
その他	松山 佳永 (実務経験なし)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	総論
2	頭頸部の骨 1
3	頭頸部の骨 2
4	頭頸部の骨 3
5	頭頸部の筋 1
6	頭頸部の筋 2
7	顎関節、まとめ 1
8	頭頸部の脈管系 1
9	頭頸部の脈管系 2
10	頭頸部の神経 1
11	頭頸部の神経 2
12	頭頸部の神経 3
13	舌と唾液腺
14	咽頭と喉頭
15	まとめ 2

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	口腔生理学					担当者名		引地 尚子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	歯や口腔とその周囲組織の生理機能を理解することを目的とする。											
到達目標	①感覚を解剖学的特徴に基づいて分類できる②口腔顔面領域の感覚神経機構を説明できる。 ③味やニオイが受容される仕組みについて説明できる④下顎の運動を、顎関節の特徴、限界運動および咀嚼筋の働きと関連づけて説明できる。⑤嚥下と嘔吐の意義と神経機構を説明できる。⑥発生と発語に関わる脳と音声器官の働きを説明できる。⑦唾液が分泌される仕組みを説明できる。											
成績評価	中間試験 期末試験により評価する。授業態度や出席率も評価の対象とする。											
その他	引地 尚子 (実務経験なし)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯の感覚
2	口腔粘膜の感覚
3	味覚その1
4	味覚その2
5	嗅覚
6	咬合、咀嚼・吸啜その1
7	咬合、咀嚼・吸啜その2
8	中間テスト、解説
9	嚥下と嘔吐その1
10	嚥下と嘔吐その2
11	嚥下と嘔吐その3
12	発声その1
13	発声その2
14	唾液その1
15	唾液その2

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	歯牙解剖学					担当者名		瀬田 祐司				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	歯牙解剖学では歯の構造を学習し、歯科医療に必要な解剖学的知識を習得させることを目的とする。											
到達目標	①歯の形態を歯種別に説明できる。 ②歯を構成する歯組織の物理化学的性状、構造物について説明できる。 ③歯髄の構成要素、機能について説明できる。 ④歯周組織について説明できる。											
成績評価	期末試験により評価を行う。											
その他	瀬田 祐司 (実務経験なし)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯牙解剖の基礎知識
2	永久歯 1 (前歯)
3	永久歯 2 (小臼歯)
4	永久歯 3 (大臼歯)
5	乳歯
6	歯牙スケッチ実習
7	歯牙鑑別実習
8	歯の組織 (エナメル質)
9	歯の組織 (象牙質・歯髄)
10	歯の組織 (歯周組織 1)
11	歯の組織 (歯周組織 2)
12	歯の発生 1
13	歯の発生 2
14	歯型彫刻実習 1
15	歯型彫刻実習 2

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	病理学					担当者名		松尾 拓				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	病理学とは生体に起こる病的な状態（病気、疾病）の本態を追求する学問であり、病気を起こす原因、それぞれの病気で生じてくる変化、その経過、そしてそれがためにたどる転帰を一本の軸とし、関連する事項をも含めて論ぜられる。本講義においては病気を総論的視点から一般的通則として把握することを主眼として講義を行い、並行して行われる口腔病理学講義の内容を理解する上でも必要不可欠の基礎的項目を教授する。											
到達目標	①疾患の多様性と共通性について説明できる。②遺伝子の働きについて説明できる。③循環障害について概説できる。④代謝障害の種類を列挙できる。⑤進行性病変の種類と意義を説明できる。⑥炎症の原因と機序を説明できる。⑦腫瘍について説明できる											
成績評価	中間試験 期末試験で評価する。 授業態度や出席率も評価対象とする。											
その他	松尾 拓（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章 病理学序論と病因論、 第2章 遺伝性疾患と先天異常（1）
2	第2章 遺伝性疾患と先天異常（2）、第3章 循環障害（1）
3	第3章 循環障害（2）
4	第4章 代謝障害と退行性病変（1）
5	第4章 代謝障害と退行性病変（2）
6	第5章 増殖と修復（1）
7	第5章 増殖と修復（2）、第6章 炎症と免疫応答異常（1）
8	中間試験（第1章～第3章）と解説、 第6章 炎症と免疫応答異常（2）
9	第6章 炎症と免疫応答異常（3）
10	第6章 炎症と免疫応答異常（4）
11	第6章 炎症と免疫応答異常（5）
12	第6章 炎症と免疫応答異常（6）
13	第7章 腫瘍（1）
14	第7章 腫瘍（2）
15	第7章 腫瘍（3）

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	口腔病理学					担当者名		松尾 拓				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	病理学講義が病気を総論的視から一般的通則として把握することを主眼とするのに対し、本講義は病理学における一各論と位置付けられ、口腔顎顔面領域という臓器・組織の特殊性を十分把握しながら、そこに起こる病変の特徴などについて理解することを主眼とする。口腔顎顔面領域の各病変について、組織・細胞レベルから歯科臨床に直結する内容にわたり歯科医療に携わるものとして必須の項目について教授する。											
到達目標	①歯の発育異常の種類について説明できる。②歯の損傷と種類を説明できる。 ③う蝕の組織学的変更について説明できる。④歯髄炎の病理組織像について説明できる。 ⑤口腔粘膜の病変について説明できる。代表的な歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍を列挙できる。 ⑥口腔癌・顎骨・唾液腺の病変・口腔領域の奇形について説明できる。											
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。 授業態度や出席率も評価対象とする。											
その他	松尾 拓 (実務経験なし)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章 歯の発育異常
2	第2章 歯の損傷と着色・付着物、第3章 う蝕(1)
3	第3章 う蝕(2)、第4章 象牙質・歯髄複合体の病態(1)
4	第4章 象牙質・歯髄複合体の病態(2)、第5章 歯周組織の病態(1)
5	第5章 歯周組織の病態(2)、第6章 口腔粘膜の病変(1)
6	第6章 口腔粘膜の病変(2)
7	第7章 口腔領域の嚢胞と腫瘍(1)
8	中間試験(第1章～第5章)と解説、第7章 口腔領域の嚢胞と腫瘍(2)
9	第7章 口腔領域の嚢胞と腫瘍(3)、第8章 口腔癌(1)
10	第8章 口腔癌(2)
11	第9章 顎骨の病変(1)
12	第9章 顎骨の病変(2)
13	第10章 唾液腺の病変(1)
14	第10章 唾液腺の病変(2)、第11章 口腔領域の奇形(形態異常)(1)
15	第11章 口腔領域の奇形(形態異常)(2)、第12章 口腔組織の加齢変化

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	微生物学・口腔微生物学					担当者名		山崎 亮太				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	微生物はヒトの生活と密接に関わっている。その中で、ヒトに感染症を引き起こす微生物を病原微生物という。授業では、病原微生物の特性（分類、性質、病原性、伝播）、感染症の発症機序、感染症に対する免疫機構、予防法、薬物治療法などの基礎知識を修得して微生物に関する知識を得ることにより、感染症の仕組みを理解し感染防御に役立てることを目指す。											
到達目標	①疾病の原因としての病原性細菌、ウイルスについて説明できる。②非特異的防御機構と特異的防御機構について説明できる。 ③口腔内微生物叢の成り立ちについて説明できる。④化学療法の種類と特徴について説明できる。											
成績評価	定期試験											
その他	山崎 亮太（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 微生物学 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	微生物の概要、感染
2	微生物総論（細菌）
3	微生物総論（ウイルス・真菌）
4	微生物の培養、観察と検査
5	化学療法
6	消毒と滅菌
7	口腔環境と常在微生物
8	中間試験
9	バイオフィルムとしてのプラーク、う蝕の細菌学
10	歯周病の細菌学、その他の口腔感染症
11	主な病原細菌
12	歯科に関連するウイルスとウイルス感染症
13	歯科に関連する真菌・原虫、プリオン
14	免疫
15	アレルギー、免疫に関連する疾患

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	薬理学・歯科薬理学					担当者名		竹内 弘				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	医療従事者に必要となる、薬と生体の関わりについての基本的知識を理解する。総論では薬物療法を理解する上で必要となる基本的な用語、薬の作用機序、薬の体内での運命、薬の効き方に影響する因子、薬の有害作用について学ぶ。各論では、歯科医療で使用される薬物や、歯科臨床現場で遭遇する頻度の高い疾患の治療に用いる薬物を中心に作用機序や副作用について学ぶ。											
到達目標	①医薬品の分類と取扱いを概説できる。②薬理作用の基本形式と分類を説明できる ③薬物動態を概説できる④薬物の一般的な副作用、有害作用と口腔領域に現れる副作用、有害作用を説明できる⑤各器官に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる											
成績評価	筆記試験											
その他	竹内 弘（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	薬理学総論 ①（薬理学とは、薬物の取扱い、薬物と法律・薬物と医薬品）
2	薬理学総論 ②（薬物療法の種類、薬理作用の基本形式、用量）
3	薬理学総論 ③（薬物の適用方法、血中濃度、薬物動態）
4	薬理学総論 ④（薬物の作用に影響を与える要因）
5	薬理学総論 ⑤（薬物の副作用、有害作用）
6	薬理学総論 ⑥（医薬品を適用する際の注意）
7	抗感染薬、消毒薬
8	前半の振り返り／末梢神経系に作用する薬物（1）
9	末梢神経系に作用する薬物（2）
10	循環器系に作用する薬物
11	炎症と薬、痛みと薬、局所麻酔薬
12	抗アレルギー薬、呼吸器系に作用する薬物
13	免疫と薬、悪性腫瘍と薬
14	消化器系に作用する薬物、血液に作用する薬物、ビタミンとホルモン、代謝性疾患
15	中枢神経系に作用する薬物

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	関係法規					担当者名		引地 尚子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								20				
授業概要	関係法規は、専門基礎分野の科目である「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」に位置づけられる。授業では、衛生行政の目的と組織、法の分類、歯科衛生士法、歯科医師法、歯科技工士法、その他の医療関係職種の法規、薬事に関する法規、地域保健に関する法規、社会保険に関する法規及び社会福祉行政の概要等について講義する。											
到達目標	①法の分類を説明できる。②歯科衛生士法、歯科医師法、歯科技工士法などの医療関係者の身分に関する法規を説明できる。③医療に関する法規を説明できる。④薬事に関する法規を説明できる。⑤地域保健法、健康増進法、母子保健法、学校保健安全法、労働安全衛生法、高齢者の医療の確保に関する法律などの地域保健に関係する法規を説明できる。											
成績評価	中間試験および期末試験で評価する。											
その他	引地 尚子（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	衛生行政と法制度、歯科衛生士法①
2	歯科衛生士法②
3	歯科衛生士法③
4	歯科医師法、歯科技工士法、歯科口腔保健法
5	中間試験 医療法
6	その他の医療関係職種の法規
7	薬事関連法規、地域関連法規、その他の衛生法規
8	社会保険制度①
9	社会保険制度②
10	社会福祉、医療の動向

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	衛生学公衆衛生学					担当者名		五島 志織				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	衛生学・公衆衛生学に関する概論と、各論として衛生統計、感染対策、環境と健康の関連、公衆衛生の主要な概念、行政組織、地域保健、および国際保健について学ぶ。											
到達目標	①疫学研究の方法を理解できる。②静態統計と動態統計の概念が説明できる。③人間と環境の相互関係を理解できる。④主な感染症とその動向について説明できる。⑤食中毒の発生状況を理解し、食中毒の分類と特徴を説明できる。⑥地域保健の基本的な進め方を説明できる。⑦母子保健、学校保健の概要、成人期の歯科保健対策を説明できる。⑧産業保健の目的を説明できる。											
成績評価	中間試験 期末試験により評価する。											
その他	五島 志織 (実務経験なし)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	衛生学・公衆衛生学の概念、予防医学の概念、疫学の方法
2	人口統計
3	健康と環境 環境概念、空気・水、放射線、住居、衣服
4	健康と環境 地球環境、公害、廃棄物
5	感染症
6	感染症 予防接種、感染症種類
7	食品と健康
8	中間試験
9	地域保健の概念
10	地域保健
11	母子保健、学校保健
12	学校保健、成人保健
13	産業保健、高齢者保健
14	精神保健、災害時の保健
15	国際保健

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
			○									
授業科目名	衛生行政・社会福祉					担当者名		秋房 住郎				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								30				
授業概要	歯科衛生士として必要な法律に関する知識、衛生行政の現状と課題及び対策、社会福祉について概説する。											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 衛生行政の目的、組織および関連法規を説明できる。 社会保険行政、社会保障制度（社会福祉制度、社会保険制度）を説明できる。 各種公的保険（医療保険、介護保険、年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険）を説明できる。 											
成績評価	期末試験											
その他	秋房 住郎（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	衛生行政の概要
2	歯科衛生士法（1）
3	歯科衛生士法（2）
4	歯科衛生士法（3）
5	歯科医師法、歯科口腔保健法
6	医療法
7	他職種の身分法、薬事に関する法規
8	他職種の身分法、薬事に関する法規
9	他職種の身分法、薬事に関する法規
10	医療保険
11	介護保険
12	年金保険
13	雇用保険、労働者災害補償保険法
14	生活保護
15	医療の動向

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科衛生士概論					担当者名		錦織 亜矢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						20						
授業概要	我が国における歯科衛生士の誕生から現在に至るまでの役割、歯科衛生士を取り巻く環境について学ぶ											
到達目標	各項目において、歯科衛生士の役割、取り巻く環境について概説、説明できる											
成績評価	期末テスト、授業態度、出席により評価する。											
その他	錦織亜矢（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士総論	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯科衛生学とは
2	健康とは
3	歯科衛生の歴史
4	予防の概念（歯科衛生理論）
5	歯科衛生過程①
6	歯科衛生過程②
7	歯科衛生士法と関連法規
8	海外の歯科衛生士の活動
9	歯科衛生士と医療倫理
10	他職種との連携、まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	医療倫理学					担当者名		久保田 浩三				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							20					
授業概要	倫理問題に配慮して医療、歯科医療を行うために、生命と医療に関わる倫理の重要性を理解する。 到達目標：①生命の尊厳について説明できる。②生と死に関わる倫理的問題を説明できる。③生命倫理・医療倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。④医の倫理に関する規範を概説できる。											
到達目標	①生命の尊厳について説明できる。 ②生と死に関わる倫理的問題を説明できる。 ③生命倫理・医療倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 ④医の倫理に関する規範を概説できる。											
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。											
その他	久保田 浩三（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	1章 なぜ医療倫理を学ぶのか
2	2章 医療倫理に関する規範とバイオエシックス
3	3章 インフォームド・コンセント
4	4章 研究と医療倫理
5	付章 歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動
6	付章 歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動
7	個人情報について（グループワーク）
8	著作権について（グループワーク）
9	付2 医療倫理に関連する規範と法令
10	人を対象とする研究と倫理審査に関して。 国家試験問題の検討

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○	担当者名		竹原 直道			
授業科目名	歯科臨床概論					担当者名		竹原 直道			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	教科書に準拠し、これを縦糸とし幅広く歯科衛生士になるにあたって必要な知識と考え方を身につける。個々の項目の重要性とともに、臨床に共通する一般的な常識に重点を置いた考え方を縦糸として理解できるように配慮したい。例えば消毒、インフォームド・コンセント、医療事故、医療倫理、歯科衛生士-患者関係、歯科衛生士-歯科医師関係、看護師などとの間で、医学知識が共有できるような視点から講義を進める。										
到達目標	臨床に共通する知識を理解できる										
成績評価	中間試験並びに期末試験結果										
その他	竹原 直道 (大学病院において歯科医師として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための歯科臨床概論 第2版	松井恭平 森崎市次郎ら 編	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯科診療とは、歯科診療所 練習問題
2	歯科診療所における安全管理、歯科診療所における業務 練習問題
3	保険医療機関での実務 練習問題
4	歯科診療で行うこと 主な診療の流れ、診療検査 練習問題
5	小児歯科、歯科矯正 練習問題
6	矯正歯科治療の概要、口腔外科 練習問題
7	口腔粘膜疾患の処置、歯科保存 練習問題
8	中間テスト 解答と解説
9	歯周治療 練習問題
10	歯周外科、歯科補綴 練習問題
11	有床義歯、障害者歯科 練習問題
12	高齢者歯科、全身疾患への対応 練習問題
13	復習 練習問題
14	復習 練習問題
15	まとめ 補遺

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	保存修復学					担当者名		世良 優裕				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	本科目では歯の硬組織疾患の治療を対象とする保存修復学の基礎を学び、保存修復における歯科衛生士の役割を理解する。											
到達目標	①歯を保存する重要性を説明できる。 ②直接法修復の特徴・適応症・手順を説明できる。 ③間接法修復の特徴・適応症・手順を説明できる。 ④歯の着色・変色の原因と処置法を説明できる。⑤補修修復の適応症と手順を説明できる。											
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。											
その他	世良 優裕 (大学病院において歯科医師として勤務)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	概論
2	歯の硬組織疾患の種類と病態
3	う蝕の好発部位、窩洞
4	保存修復治療の概要
5	コンポジットレジン修復(1)・(組成、種類、歯質への接着)
6	コンポジットレジン修復(2)・(器材、特徴、手順)
7	セメント修復
8	中間試験、解説
9	歯の漂白
10	インレー修復(1)・(器材、特徴、手順、メタルインレー修復)
11	インレー修復(2)・(セラミックインレー修復、ハイブリッドセラミックインレー修復)
12	ラミネートベニア修復
13	合着材・接着剤
14	補修修復、保存修復における歯科衛生士の役割
15	まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯内療法学					担当者名		藤元 政考				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	歯の硬組織、歯髄、根尖周囲組織の疾患や傷害に対する診断、予防を学ぶ学問である。本科目では、歯内療法の基礎を学び、歯内療法に関する診療補助の能力を習得することを目的とする。											
到達目標	①歯内療法の目的を説明できる。②歯髄保存療法について説明できる。 ③歯髄除去療法について説明できる。④根管治療、根管充填について説明できる。 ⑤外科的歯内療法について説明できる。											
成績評価	期末試験											
その他	藤元 政考（大学病院、歯科診療所において歯科医師として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯内治療概論
2	歯髄疾患①
3	歯髄疾患②
4	根尖性歯周疾患①
5	根尖性歯周疾患②
6	歯髄の保存療法
7	歯髄の除去療法
8	根管治療、根管充填①
9	根管治療、根管充填②
10	根管治療、根管充填③
11	外科的歯内治療と歯の外傷
12	歯内治療の安全対策
13	歯内治療における歯科衛生士の役割①～歯髄の保存療法～
14	歯内治療における歯科衛生士の役割②～根管治療～
15	歯の漂白と歯内治療学まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○	担当者名		久保田 浩三			
授業科目名	歯周治療学					担当者名		久保田 浩三			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	歯周治療学では、歯周病の分類や原因、治療法について学ぶ。歯周組織の病気である歯周病は、デンタルカリエスとともに歯を喪失する原因として重要視されている。この疾患の予防と治療に関して包括的に学び、歯を維持していきことを学ぶ。また、歯を保存することによる全身の健康維持に関与することを理解する。										
到達目標	①歯肉炎と歯周炎の違いを説明できる。②歯周病の原因について説明できる。 ③歯周病の予防法を説明できる。④歯周基本治療および歯周外科治療について説明できる。 ⑤SPTとメンテナンスについて説明できる。										
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。										
その他	久保田 浩三（大学病院において歯科医師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯周病学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯周治療とは（歯周疾患の現状と治療、歯科衛生業務と歯周治療）
2	正常な歯周組織の構造と機能（歯周病に罹患した歯周組織）
3	歯周病の分類と原因（過去の歯周疾患の分類と現在の歯周病学会分類について説明しその症状について説明する）
4	歯周病の原因（歯周病の発症について概説すると共に病態を説明する）
5	歯周医学、歯周医学、インプラント周囲炎（歯周病と関連性があると言われている全身疾患との関連性、治療時の注意事項、管理法等について）
6	歯周治療の実際（歯周治療の進め方）
7	歯周病の検査（歯周疾患の診査の意義と方法について説明）
8	歯周基本治療（原因除去療法としての歯周基本治療の意義と必要性と効果特について）
9	歯周外科治療（歯周治療における歯周外科の位置付け、歯周外科の種類について）
10	歯周外科の器具とアシスタント法（歯周外科に使用される外科器具について、使用法、使用目的また、歯周外科時のアシスタント法について）
11	歯周治療としての口腔機能回復治療（歯内・歯周病変、歯内病変と歯周病変が合併したもので、発症、分類、治療法について）
12	メンテナンスとは（歯周治療で基本治療と共に必ず行う必要がある治療過程でその治療法、間隔とアセスメントについて）
13	歯周治療としての口腔機能回復治療（咬合治療）
14	歯周治療における歯科衛生士の業務①
15	歯周治療における歯科衛生士の業務②（歯周治療における歯科衛生士の役割）

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科補綴学					担当者名		大楠 弘通				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								30				
授業概要	歯科補綴治療に関する基礎知識および治療の実際を教授するとともに歯科衛生士の役割について確認する。											
到達目標	①補綴装置の種類とその特徴を説明できる。②補綴歯科治療で重要な基準平面を説明できる。③咬合と顎機能検査の種類と特徴を説明できる。④クラウン・ブリッジ治療の流れを説明できる。⑤全部床義歯治療・部分床義歯治療の流れを説明できる。⑥インプラント治療の流れを説明できる。											
成績評価	期末試験により評価する。											
その他	大楠 弘通 (大学病院において歯科医師として勤務)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯科補綴治療の意義と目的
2	補綴装置 (クラウン・ブリッジ)
3	補綴装置 (クラウン・ブリッジ)
4	補綴装置 (有床義歯)
5	補綴装置 (有床義歯)
6	補綴装置 (インプラント、特殊口腔内装置)
7	歯科補綴治療における各種検査
8	中間試験・解説
9	歯科補綴治療の基礎知識
10	クラウン・ブリッジ治療
11	クラウン・ブリッジ治療
12	有床義歯治療
13	有床義歯治療
14	インプラント、特殊な口腔内装置を用いる治療
15	まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科						
					○								
授業科目名	口腔外科学					担当者名		鶴島 弘基、早川 真奈、西牟田 文香					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次			
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
授業概要	口腔顎顔面領域における各種疾患および口腔に関連した全身疾患について学ぶ。口腔外科疾患の診断と治療、口腔病変と全身疾患との関わり、歯科治療における全身管理、口腔外科患者と歯科衛生士の関わりを習得する。												
到達目標	①顎口腔領域の特徴を説明できる。②先天異常と発育異常を説明できる。③損傷について種類と特徴と治療を概説できる。④口腔粘膜疾患の臨床症状および代表的な疾患を説明できる。⑤嚢胞の種類を説明できる。⑥顎口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明できる。⑦唾液腺疾患の概要を説明できる。⑧神経系疾患の原因、症状および治療を概説できる。												
成績評価	試験および授業態度												
その他	鶴島 弘基、早川 真奈、西牟田 文香（大学病院において歯科医師として勤務）												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	口腔外科学総論 (鶴島)
2	顎顔面領域の先天疾患と発育異常 (鶴島)
3	顎顔面領域の損傷および機能障害 (鶴島)
4	顎関節疾患 (鶴島)
5	周術期口腔管理・中間試験 (鶴島)
6	口腔粘膜の病変① (早川)
7	口腔粘膜の病変②、血液疾患 (早川)
8	顎口腔領域の嚢胞性病変 (早川)
9	顎口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患① (早川)
10	顎口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患② (早川)
11	顎口腔領域の化膿性炎症性病変 (西牟田)
12	唾液腺疾患 (西牟田)
13	口腔領域の神経疾患 (西牟田)
14	口腔外科診療の実際 (西牟田)
15	口腔外科診療の実際 (西牟田)

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科麻酔学(救急蘇生含む)					担当者名		左合 徹平				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								20				
授業概要	<p>歯科治療は生体にとって侵害刺激となる。この刺激を制御して生体を防御することは非常に重要である。 そのため必要不可欠なスキルである全身管理に重点を置き、薬物調整法や疼痛の発生ならびに緊急時における対処法、救急蘇生法、応急手当まで修得する。</p>											
到達目標	<p>①歯科麻酔学の役割を概説できる。②歯科で使用される局所麻酔薬を説明できる。 ③精神鎮静法の適応と分類を説明できる。④全身麻酔法について説明できる。 ⑤歯科治療時に生じる全身的偶発症を列挙できる。⑥一時救命処置を説明できる。</p>											
成績評価	定期試験、授業態度											
その他	左合 徹平 (大学病院において歯科医師として勤務)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯科麻酔学と患者管理
2	全身状態の評価と患者管理①医療面接と患者評価
3	” ②バイタルサイン
4	局所麻酔①
5	局所麻酔②
6	精神鎮静法
7	全身麻酔法①
8	全身麻酔法
9	一次救命処置・二次救命処置
10	救急蘇生法

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○						
授業科目名	小児歯科学					担当者名	森川 和政				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	小児における歯科診療について、概論および疾患や治療法の基礎知識、また実際の歯科診療補助について学ぶ。										
到達目標	①口腔の変化を説明できる。②顔面頭蓋の発育の特徴を説明できる。③歯の発育とその特徴を説明できる。④ヘルマンの咬合発育段階を説明できる。⑤歯列および咬合の発育異常を説明できる。⑥小児虐待の現状と種類を説明できる⑦障害児の特徴と提携発達児との違いを説明できる。										
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。										
その他	森川 和政（大学病院において歯科医師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 小児歯科学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	小児歯科総論
2	心身の発育
3	小児の生理的特徴
4	顔面頭蓋の発育
5	歯の発育とその異常
6	歯列・咬合の発育と異常
7	小児の歯科疾患
8	中間テスト
9	小児虐待
10	小児期の特徴と歯科的問題点 小児歯科における患者との対応法
11	小児歯科における診療体系①
12	小児歯科における診療体系②
13	障害児の歯科治療
14	う蝕予防
15	口腔保健管理 歯科診療室と器材の管理

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○						
授業科目名	高齢者・障害者歯科疾患論					担当者名		柿木 保明			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	高齢者及び障害者にみられる歯科口腔疾患を理解して、社会福祉や制度とともに、予防処置や口腔衛生管理、歯科保健指導、診療補助、機能訓練を学ぶ。また、関連する全身疾患や口腔との関係についても学ぶ。										
到達目標	①高齢者の保健・医療・福祉対策の経緯を説明できる。②高齢者とのコミュニケーションにおいて配慮すべき点を説明できる。③高齢者特有の口腔の疾患・症状を説明できる。④高齢者のADL・QOL(QOD)を評価する方法を説明できる。⑤高齢者の栄養スクリーニングおよび栄養評価について説明できる。⑥障害の分類と特徴を説明できる。										
成績評価	中間試験、期末試験により評価する。										
その他	柿木 保明（大学病院において歯科医師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第4版 歯科衛生士講座 障害者歯科学 第3版	森戸 光彦ら 緒方 克也、柿木 保明ら	永末書店
参考図書			

回数	授業計画
1	高齢者・障害者と社会福祉、介護保険
2	地域医療と高齢者・障害者
3	歯科衛生士と口腔ケア・口腔保健管理
4	加齢の科学
5	高齢者の口腔疾患
6	全身状態の把握と対応
7	高齢者歯科医療と診療補助
8	中間テスト、摂食嚥下リハビリテーション
9	障害の分類と特徴
10	障害者歯科医療と診療補助
11	歯科衛生士と医療安全
12	行動調整とコミュニケーション
13	歯科保健指導と口腔衛生管理
14	高齢者・障害者と社会福祉、介護保険障害者歯科の予防処置、医療連携
15	まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	矯正歯科学					担当者名		郡司掛 香織				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
授業概要	歯科矯正学の基本的な知識の学習 歯科衛生士の役割の学習 矯正歯科治療の一般的な流れや不正咬合の解決法の学習 実際に歯科衛生士が臨床現場で行う手技の学習 歯科全般に関わる一般的な知識の学習											
到達目標	①顔面および歯・歯列の成長発育とその評価を説明できる。②Hellmanの咬合発達段階（歯齢）を説明できる。③不正咬合の原因と種類、その予防を説明できる。④形態的検査・機能的検査の方法を説明できる。⑤さまざまな歯の移動様式を説明できる。⑥矯正装置の分類・構造及び機能を説明できる。⑦叢生・上顎前突・下顎前突・過蓋咬合・開咬・交叉咬合の特徴と治療を概説できる。											
成績評価	8回目に中間試験を実施する。 期末試験では第1回から第15回までの講義内容から出題し、成績を評価する。 中間試験の点数も加味する場合がある。											
その他	郡司掛 香織（大学病院において歯科医師として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科矯正学 第7版	後藤滋巳他 編集	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画
1	オリエンテーション、矯正歯科治療の概要
2	成長発育
3	正常咬合と不正咬合①
4	正常咬合と不正咬合②
5	矯正歯科診断①
6	矯正歯科診断②
7	矯正歯科治療と力
8	中間試験（出題範囲：第1回～第7回分）、試験解説
9	矯正装置①
10	矯正装置②
11	矯正装置③
12	矯正歯科治療の実際
13	矯正歯科治療に用いる器材
14	矯正歯科治療に用いる器材の使用手順、口腔筋機能療法
15	矯正歯科治療における口腔衛生管理

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科口腔放射線論					担当者名		小田 昌史				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							20					
授業概要	としての業務範囲で行い得る放射線業務について理解するとともにそれらの基本となる事項を把握することを目的とする。具体的には、放射線に関する知識、防護に関する知識、エックス線撮影補助の知識を深め、安全かつ効率的に歯科診療補助を行えることを目指す。											
到達目標	①歯科診療における放射線の役割について説明できる。②放射線防護の目的を説明できる。③エックス線画像形成について説明できる。④エックス線画像検査について説明できる。⑤口内法エックス線撮影の診療補助を説明できる。⑥パノラマエックス線撮影の診療補助を説明できる。											
成績評価	定期試験											
その他	小田 昌史 (大学病院において歯科医師として勤務)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士講座 歯科放射線学	金田 隆 奥村泰彦 村上秀明	永末書店
参考図書			

回数	授業計画
1	歯科医療と放射線1
2	歯科医療と放射線2
3	歯科医療と放射線3
4	エックス線画像の形成
5	歯科におけるエックス線検査1
6	歯科におけるエックス線検査2
7	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割1
8	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割2
9	パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割
10	写真処理と画像保管の実際・放射線治療と口腔管理

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科予防処置論 I					担当者名		錦織 亜矢、下野 あゆみ				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	<p>歯科の二大疾患といわれるう蝕と歯周病の予防に歯科衛生士の存在は欠かせないといっても過言ではない。そのためにも、予防の概念及び口腔の基礎知識を学び、歯科衛生アセスメントから歯科衛生介入までに行う歯科衛生士業務について修得する。本講義では、主に歯周病予防について学ぶ。</p>											
到達目標	<p>①予防の概念が理解できる ②口腔の基礎知識・う蝕、歯周病についての基礎知識が理解できる。 ③歯科衛生アセスメントについて理解する。 ④歯科衛生介入としての歯科予防処置について理解する。”</p>											
成績評価	中間試験、期末試験、授業態度、出席により評価する											
その他	錦織亜矢（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）、下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											
使用教材	書籍名					著者名			出版社名			
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版					全国歯科衛生士教育協議会 監修			医歯薬出版株式会社			
参考図書												

回数	授業計画
1	予防の概念
2	口腔の基礎知識①
3	口腔の基礎知識②
4	口腔内の付着物
5	歯周病の基礎知識
6	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報処理①
7	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報処理②
8	歯周検査、プロービング
9	歯科衛生介入としての歯科予防処置（シックルスケーラー）
10	歯科衛生介入としての歯科予防処置（キュレットスケーラー）
11	歯科衛生介入としての歯科予防処置（パワースケーリング）
12	歯科衛生介入としての歯科予防処置（シャープニング）
13	歯科衛生介入としての歯科予防処置（歯面研磨・歯面清掃）
14	分析のためのデータ
15	まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科						
					○								
授業科目名	歯科予防処置演習 I-A					担当者名		錦織 亜矢					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次			
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						20							
授業概要	「歯科予防処置 I」で学んだことを踏まえ、正しい姿勢と手技を学び修得する												
到達目標	①各施術において正しい姿勢で行うことができる ②ミラーを必要に応じて使用できる ③マネキン上でプローブを正しく操作できる ④マネキン上でシクルスケーラーを正しく操作できる												
成績評価	各項目における小テスト、実習態度、出席、期末（筆記、実技試験）の結果を総合的に評価する												
その他	錦織亜矢（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	ファントムの使い方、姿勢、指体操
2	ポジショニング、ミラーテクニック、プロービング①（マネキン実習）
3	プロービング②（マネキン実習）
4	プロービング③（マネキン実習）
5	前腕運動、手根関節運動、手指屈伸運動
6	プロービング④、シクルスケーラー①（マネキン実習）
7	プロービング⑤、シクルスケーラー②（マネキン実習）
8	プロービング⑥、シクルスケーラー③（マネキン実習）
9	プロービング⑦、シクルスケーラー④（マネキン実習）
10	プロービング⑧、シクルスケーラー⑤（マネキン実習）

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科予防処置演習 I-B					担当者名		下野 あゆみ、錦織 亜矢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							60					
授業概要	歯周病・う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を修得する。											
到達目標	①処置に必要な器具器材の準備ができる。 ②ファントム（顎模型上）で、パワースケーリング、歯面清掃、歯面研磨の操作ができる。 ③口腔内観察を行い、歯および歯周組織の情報を得ることができる。											
成績評価	筆記試験 実技試験 出席状況											
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/錦織亜矢（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	キュレットスケーラーの基礎知識（小テストあり）
2	キュレットスケーラー 顎模型演習（前歯）（小テストあり）
3	キュレットスケーラー 顎模型演習（右上臼歯）（小テストあり）
4	キュレットスケーラー 顎模型演習（左上臼歯）（小テストあり）
5	キュレットスケーラー 顎模型演習（右下臼歯）（小テストあり）
6	キュレットスケーラー 顎模型演習（左下臼歯）（小テストあり）
7	キュレットスケーラー 顎模型演習（粘膜あり）（小テストあり）
8	パワースケーラー、歯面研磨、歯面清掃に使用する器具・器材の取扱い
9	パワースケーラー（エアスケーラー）演習〈顎模型〉
10	パワースケーラー（エアスケーラー）演習〈顎模型〉
11	歯面清掃（サブソニックブラシ）の取扱い〈顎模型〉
12	歯面清掃（サブソニックブラシ）の取扱い〈顎模型〉
13	歯面研磨演習〈顎模型〉
14	パワースケーラー（超音波スケーラー）演習〈顎模型〉
15	パワースケーラー（超音波スケーラー）演習〈顎模型〉
16	パワースケーラー（超音波スケーラー）演習〈顎模型〉

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	う蝕予防処置論					担当者名	下野 あゆみ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるためには、歯科の二大疾患であるう蝕を予防することが重要であり、歯科衛生士のかかわりは大きい。本講義では、う蝕予防に関する知識、技術、態度などを修得する。											
到達目標	①う蝕の原因、予防について説明できる。②う蝕活動性試験を実施し、その結果を概説することができる。③う蝕活動性試験の結果から対象者に合わせたう蝕予防方法の選択ができる。④フッ化物の理解を深め、フッ化物応用ができる。⑤小窩裂溝填塞の目的を理解し、模型上で実施できる。											
成績評価	筆記試験 実習態度											
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科衛生士のための齲蝕予防処置法	中垣晴男 加藤一夫 石飛國子 高阪利美 編著	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画
1	う蝕とは
2	代用甘味料
3	う蝕活動性試験
4	う蝕活動性試験演習（唾液分泌量、グルコースクリアランステスト、デントカルトSM）
5	フッ化物応用（歯面塗布）
6	う蝕活動性試験演習（デントカルトLB、デントパフストリップ、RDテスト）
7	フッ化物応用（洗口）
8	フッ化物応用（歯磨剤）
9	フッ化物洗口演習
10	小窩裂溝填塞
11	フッ化物歯面塗布演習 〈相互実習〉
12	フッ化物歯面塗布演習 〈相互実習〉
13	小窩裂溝填塞演習 〈顎模型〉
14	小窩裂溝填塞演習 〈顎模型〉
15	急性中毒・まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科予防処置演習Ⅱ					担当者名	下野 あゆみ、五十嵐 比奈子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		3			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								110				
授業概要	歯科予防処置にかかわる基礎から応用までの過程、技術および態度を習得する。 また臨床に即した施術の流れおよび患者対応を習得する。											
到達目標	①ハンドスケーラーおよびパワースケーラーを用いた歯石除去操作ができる。 ②3年生を対象としてう蝕活動性試験を実施し、対象者に合わせた指導ができる。 ③歯面清掃・歯面研磨ができる。 ④小窩裂溝充填ができる。⑤歯科衛生過程の流れに沿ってアセスメントから評価まで実施できる。											
成績評価	実習態度 提出物 出席状況											
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科衛生士のための齲蝕予防処置法	中垣晴男 加藤一夫 石飛國子 高阪利美 編著	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画
1	A: シックルスケーリング（相互実習） / B: キュレット練習・合同実習招待状作成
2	A: シックルスケーリング（相互実習） / B: キュレット練習・合同実習招待状作成
3	A: キュレット練習・合同実習招待状作成 / B: シックルスケーリング（相互実習）
4	A: キュレット練習・合同実習招待状作成 / B: シックルスケーリング（相互実習）
5	A: 合同実習練習 / B: キュレットスケーリング（相互実習）①
6	A: 合同実習練習 / B: キュレットスケーリング（相互実習）①
7	A: キュレットスケーリング（相互実習）① / B: 合同実習練習
8	A: キュレットスケーリング（相互実習）① / B: 合同実習練習
9	A: キュレットスケーリング（相互実習）② / B: 課題学習①
10	A: キュレットスケーリング（相互実習）② / B: 課題学習①
11	A: 課題学習① / B: キュレットスケーリング（相互実習）②
12	A: 課題学習① / B: キュレットスケーリング（相互実習）②
13	A: 2・3年生 合同実習①（情報収集） / B: 合同実習サポート
14	A: 合同実習サポート / B: 2・3年生 合同実習①（情報収集）
15	A: キュレットスケーリング（相互実習）③ / B: 課題学習②
16	A: キュレットスケーリング（相互実習）③ / B: 課題学習②

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 7年度 歯科衛生学科							
授業科目名	歯科予防処置演習Ⅱ			担当者名	下野 あゆみ、五十嵐 比奈子						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		3			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								110			

回数	授 業 計 画
17	A:課題学習② / B:キュレットスケーリング (相互実習) ③
18	A:課題学習② / B:キュレットスケーリング (相互実習) ③
19	A:パワースケーリング (エアスケーラー) <相互実習> / B:課題学習③
20	A:パワースケーリング (エアスケーラー) <相互実習> / B:課題学習③
21	2・3年生 合同実習② (説明準備)
22	A:課題学習③ / B:パワースケーリング (エアスケーラー) <相互実習>
23	A:課題学習③ / B:パワースケーリング (エアスケーラー) <相互実習>
24	2・3年生 合同実習③ (説明)
25	A:パワースケーリング (超音波スケーラー) <相互実習> / B:課題学習④
26	A:パワースケーリング (超音波スケーラー) <相互実習> / B:課題学習④
27	A:課題学習④ / B:パワースケーリング (超音波スケーラー) <相互実習>
28	A:課題学習④ / B:パワースケーリング (超音波スケーラー) <相互実習>
29	A:歯面清掃 (エアポリッシャー) <相互実習> / B:課題学習⑤
30	A:歯面清掃 (エアポリッシャー) <相互実習> / B:課題学習⑤
31	A:課題学習⑤ / B:歯面清掃 (エアポリッシャー) <相互実習>
32	A:課題学習⑤ / B:歯面清掃 (エアポリッシャー) <相互実習>
33	A:歯面清掃 (PMTC) <相互実習>① / B:臨床実習前練習①
34	A:歯面清掃 (PMTC) <相互実習>① / B:臨床実習前練習①
35	A:歯科衛生過程 (アセスメント実習) / B:医療面接
36	A:歯科衛生過程 (アセスメント実習) / B:医療面接
37	A:医療面接 / B:歯科衛生過程 (アセスメント実習)
38	A:医療面接 / B:歯科衛生過程 (アセスメント実習)
39	A:歯科衛生過程 (分析・計画) / B:歯面清掃 (PMTC) <相互実習>①
40	A:歯科衛生過程 (分析・計画) / B:歯面清掃 (PMTC) <相互実習>①

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科予防処置論Ⅱ					担当者名		下野 あゆみ、錦織 亜矢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
											40	
授業概要	歯周病やう蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識を深める。											
到達目標	①歯科予防処置の領域における知識を確実なものにすることができる。 ②フッ化物を安全に取り扱うために、フッ素の含有量を計算できる。											
成績評価	期末テストにて評価する。											
その他	錦織亜矢（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）、下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新 歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画
1	国家試験対策：総論・法律・歯周組織
2	国家試験対策：情報収集
3	国家試験対策：アタッチメントレベル 評価
4	国家試験対策：歯周治療の流れ
5	国家試験対策：まとめ
6	国家試験対策：ハンドスケーリング
7	国家試験対策：パワースケーリング シャープニング
8	国家試験対策：歯面研磨・歯面清掃
9	国家試験対策：メンテナンス
10	国家試験対策：う蝕 情報収集
11	国家試験対策：う蝕活動性試験①
12	国家試験対策：う蝕活動性試験②
13	国家試験対策：フッ化物応用①
14	国家試験対策：フッ化物応用②
15	国家試験対策：フッ化物応用③
16	国家試験対策：フッ素計算

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科保健指導論 I					担当者名		錦織 亜矢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						40						
授業概要	健康と疾病の概念を理解し、歯・口腔の健康を維持・増進するために口腔清掃に必要な知識の基礎を修得する											
到達目標	①歯みがきの方法を識別でき、説明できる ②口腔清掃に必要な道具の特徴と使用方法が説明できる ③様々な情報（データ）から分析を行い、資料を作成することができる											
成績評価	期末試験、媒体作成、提出物、出席、授業態度により評価する											
その他	錦織亜矢（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯科保健指導とは
2	口腔の基礎知識
3	歯ブラシの基礎知識
4	毛先を用いたブラッシング①
5	毛先を用いたブラッシング②
6	脇腹を用いたブラッシング
7	清掃困難な部位
8	補助道具の知識①
9	補助道具の知識②
10	（中間） 補助道具の知識③
11	歯磨剤の基礎知識
12	洗口剤と保湿剤の基礎知
13	歯科染色剤の基礎知識と技術
14	分析のためのデータ～PCR概要と計算方法～
15	分析のためのデータ～OHI, OHI-S概要と計算方法～
16	媒体作成①

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○						
授業科目名	歯科保健指導論Ⅱ					担当者名	五十嵐 比奈子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							40				
授業概要	ライフステージや機能障害に応じた歯科保健行動の変容を支援するために必要な専門的な知識・技術を学修する。										
到達目標	ライフステージ別の対象者の一般的特徴、口腔の特徴および歯科保健行動を説明できる。 各ライフステージ別の口腔衛生指導ができる。 各ライフステージ別の食生活指導ができる。										
成績評価	中間試験、期末試験、提出物にて評価する。										
その他	五十嵐 比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	食生活と咀嚼、生活習慣
2	ライフステージにおける歯科衛生介入 妊産婦期
3	ライフステージにおける歯科衛生介入 妊産婦期の口腔清掃
4	ライフステージにおける歯科衛生介入 新生児期・乳児期の特徴
5	ライフステージにおける歯科衛生介入 乳児期の栄養
6	ライフステージにおける歯科衛生介入 乳児期の口腔清掃
7	ライフステージにおける歯科衛生介入 幼児期の特徴
8	ライフステージにおける歯科衛生介入 幼児期の栄養
9	ライフステージにおける歯科衛生介入 幼児期の口腔清掃
10	中間試験
11	ライフステージにおける歯科衛生介入 学齢期
12	ライフステージにおける歯科衛生介入 学齢期の口腔清掃
13	ライフステージにおける歯科衛生介入 青年期
14	ライフステージにおける歯科衛生介入 成人期
15	喫煙者に対する指導
16	ライフステージにおける歯科衛生介入 老年期の特徴

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科保健指導演習Ⅱ-A					担当者名		五十嵐 比奈子、錦織 亜矢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								30				
授業概要	対象者の特性と口腔保健上の課題を把握し、対象集団に対する歯科保健指導を実践する。また、歯科衛生業務を展開するための論理的思考ツールである歯科衛生過程について学修する。											
到達目標	①歯科衛生過程の全体像と考え方を理解する。②歯科衛生過程の各要素について説明できる。 ③症例を通して、対象者の問題の明確化とその解決策を検討することができる。 ④小学生に対する歯科保健指導を計画し、対象に適した媒体や教材を用いて実践することができる。											
成績評価	筆記試験および提出物（症例課題、レポートなど）にて評価を行											
その他	錦織亜矢(歯科診療所において歯科衛生士として勤務)/五十嵐比奈子(歯科診療所において歯科衛生士として勤務)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	事例でわかる歯科衛生過程	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画
1	オリエンテーション 地域歯科保健活動における健康教育 小学生に対する歯科保健指導
2	地域歯科保健活動における健康教育 小学生に対する歯科保健指導
3	地域歯科保健活動における健康教育 小学生に対する歯科保健指導
4	医療面接・アセスメント(1・2年合同実習)A
5	地域歯科保健活動における健康教育 小学生に対する歯科保健指導
6	医療面接・アセスメント(1・2年合同実習)B
7	歯科衛生過程 基本的な考え方と6つの構成要素
8	歯科衛生過程 歯科衛生アセスメント
9	歯科衛生過程 歯科衛生アセスメント(症例検討)
10	歯科衛生過程 歯科衛生診断
11	歯科衛生過程 歯科衛生診断(症例検討)
12	歯科衛生過程 歯科衛生計画立案
13	過程 歯科衛生計画立案(症例検討)
14	歯科衛生過程 歯科衛生評価、書面化
15	配慮を要する者への歯科衛生介入 大規模災害被災者

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科保健指導論Ⅲ					担当者名		五十嵐 比奈子、錦織 亜矢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
											40	
授業概要	歯科保健指導および歯科衛生教育の知識、技能及び対応を学修し、臨床および公衆衛生活動に対応し得る能力を養う。											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人と集団を対象とした歯科保健指導、健康教育について説明できる。 ・歯科保健指導のために必要な情報収集の方法、内容、評価などを理解できる。 ・対象者に応じた口腔衛生管理、生活習慣指導、食生活指導を考えることができる。 ・地域における健康教育の対象、課題、進め方などを説明することができる。 											
成績評価	期末試験による評価											
その他	錦織亜矢（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）、五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科衛生学シリーズ 保健生態学	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画
1	総論
2	情報収集
3	情報収集
4	生活習慣指導
5	食生活指導
6	食生活指導
7	食生活指導
8	健康教育
9	健康教育
10	保健行動支援、コミュニケーションスキル
11	生活習慣指導（非感染性疾患、禁煙指導、ストレスマネジメント）
12	食生活指導（ライフステージに応じた指導）
13	食生活指導（栄養）
14	歯科衛生過程
15	過去模試解説
16	口腔衛生管理（口腔衛生状態の指標）

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科保健指導演習Ⅲ					担当者名		五十嵐 比奈子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
										40		
授業概要	地域における歯科保健教育活動の実践を学修するため、対象集団の特性や課題を把握し、効果的な歯科保健指導にむけた指導案、媒体の作成、プレゼンテーションを行う。											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期（4・5歳児）の対象者が、口腔衛生習慣を身につけるための歯科保健指導を考えることができる。 ・対象者の発達、課題を踏まえた指導案を作成することができる。 ・対象者に適した媒体を用いてプレゼンテーションを行うことができる。 ・PDCAサイクルに基づき評価を行い、次回の改善につなげることができる。 											
成績評価	グループでの実習評価、レポート等の提出物、出席状況等による評価を行う											
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	はじめよう！保育所・幼稚園での歯磨きレッスン	丸山進一郎 監修	永末書店

回数	授業計画
1	保育所における歯科健康教育 指導案作成
2	保育所における歯科健康教育 実演練習
3	保育所における歯科健康教育 実演練習
4	保育所における歯科健康教育 実演練習
5	保育所における歯科健康教育 リハーサル（教員チェック）①
6	保育所における歯科健康教育 リハーサル（教員チェック）①
7	保育所における歯科健康教育 歯磨きカレンダー作成
8	保育所における歯科健康教育 内容修正（媒体・シナリオ）・練習
9	保育所における歯科健康教育 内容修正（媒体・シナリオ）・練習
10	保育所における歯科健康教育 内容修正（媒体・シナリオ）・練習
11	保育所における歯科健康教育 リハーサル（教員チェック）②
12	保育所における歯科健康教育 リハーサル（教員チェック）②
13	保育所における歯科健康教育 保護者用プリント作成
14	保育所における歯科健康教育 内容修正（媒体・シナリオ）・練習
15	保育所における歯科健康教育 内容修正（媒体・シナリオ）・練習
16	保育所における歯科健康教育 リハーサル（教員チェック）③

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○						
授業科目名	栄養指導法					担当者名		朴 祇佑			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	本科目では、基礎栄養学をはじめライフステージ別の特性および食事摂取基準を理解し、歯科衛生士に必要な知識である適切な栄養指導法を身に付ける事を目標とする。また、臨床での歯科栄養の在り方はもちろん持続的な実践方法についても解説する。										
到達目標	①基礎栄養学を理解できる。 ②歯科衛生士に必要な栄養指導法を説明できる。										
成績評価	期末試験 授業態度										
その他	朴 祇佑 (実務経験なし)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 栄養と代謝	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	栄養の基礎知識 1
2	栄養の基礎知識 2
3	栄養素の働き 1
4	栄養素の働き 2
5	基礎代謝
6	食事摂取基準 1 (2025) ① (基本概念と理解)
7	食事摂取基準 2 (2025) ② (食事摂取基準の活用)
8	食事摂取基準 3 (2025) ③ (推定エネルギー必要量の求め方)
9	国民の健康と栄養の現状
10	望ましい食生活
11	ライフステージ別の栄養と調理
12	食べ物と健康
13	食べ物の物性
14	まとめ
15	国家試験対策

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
					○		令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	歯科診療補助論 I					担当者名	中島 紀子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	歯科診療補助の概要から医療安全と感染予防を主として解説する。手指衛生や個人防護の着脱、清潔・不潔操作、器具の受け渡しやポジショニングなど、歯科診療の補助に関する基礎的な演習を取り入れる。											
到達目標	①歯科衛生士の行う歯科診療の補助を説明できる。②医療安全と対策、感染症の概念とその対策を説明できる。③手指消毒やグローブの着脱が実施できる。④滅菌・消毒・洗浄の方法について説明できる。⑤医療廃棄物の分類と分別を説明できる。⑥適切なポジショニングを実施できる。⑦器具の受け渡しを実施できる。⑧アルジネート印象材と歯科用石膏の特徴・種類・用途を説明できる。											
成績評価	期末試験 授業態度 小テスト 実技チェック 出席状況											
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	歯科診療補助の概要 他の医療職種への理解
2	医療安全と感染予防
3	感染予防 ①滅菌・消毒 ②医療廃棄物の取り扱い
4	感染予防 ①滅菌・消毒 ②手指衛生・個人防護具の着脱
5	感染予防 手指衛生・個人防護具の着脱（実践）
6	歯科診療における基礎知識 ①清拭 ②清潔・不潔
7	歯科診療における基礎知識 ①歯科診療室の環境 ②患者対応の基本
8	歯科診療で使用する歯科材料 ①アルジネート印象材 ②歯科用石膏の基礎知識
9	歯科診療で使用する歯科材料 ①アルジネート印象材 ②歯科用石膏の基礎知識
10	歯科診療補助における基礎知識 共同動作（①器具の受け渡し ②術者・補助者・患者のポジショニング）基礎実習室の取り扱い
11	歯科診療補助における基礎知識 共同動作（①器具の受け渡し ②術者・補助者・患者のポジショニング）基礎実習室の取り扱い
12	手指衛生・個人防護の着脱、清拭、清潔・不潔、器具の受け渡し 総まとめ
13	手指衛生・個人防護の着脱、清拭、清潔・不潔、器具の受け渡し 総まとめ
14	手指衛生・個人防護の着脱、清拭、清潔・不潔、器具の受け渡し 実技チェック
15	まとめ 期末試験範囲について

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
					○		令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	歯科診療補助演習 I-A					担当者名		中島 紀子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						40						
授業概要	歯科治療で用いられる主要歯科材料であるアルジネート印象材および歯科用石膏の標準的な使用法の演習を行う。											
到達目標	①アルジネート印象材の練和と管理を実施できる ②歯科用石膏の練和と管理を実施できる ③衛生材料の取り扱いを実施できる											
成績評価	実技テスト、小テスト、出席状況、授業態度（身だしなみ含む）、課題・提出物											
その他	中島 紀子（大学病院にて歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	イラストと写真でわかる 歯科材料の基礎 第4版	竹澤保政 監著	永末書店

回数	授業計画
1	歯科衛生材料の基礎知識と取扱い
2	歯科衛生材料作製
3	歯科衛生材料作製
4	アルジネート印象材 練和法
5	アルジネート印象材 練和法
6	アルジネート印象材 練和法
7	アルジネート印象材 練和法
8	概形印象採得
9	概形印象採得
10	概形印象採得
11	概形印象採得
12	概形印象採得
13	概形印象採得
14	概形印象採得
15	概形印象採得
16	模型の作製

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科診療補助演習 I-B					担当者名		中島 紀子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							70					
授業概要	実験室では歯科診療で使用する歯科材料、ラバーダム防湿の演習を行い、基礎実習室では共同動作の演習を行う。技術習得度については実技チェックを適宜実施し確認する。											
到達目標	①バキュームやスリーウェイシリッジ、ライティング操作ができる ②各種歯科材料について適切な取り扱いができる ③ラバーダム防止を実施できる（模型上で）											
成績評価	期末試験（筆記）、実技チェック、出席状況、授業態度（身だしなみ含む）、課題・提出物											
その他	中島 紀子（大学病院にて歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	イラストと写真でわかる 歯科材料の基礎 第4版	竹澤保政	永末書店

回数	授業計画
1	共同動作 フォーハンドデッドデンティストリー バキュームテクニック スリーウェイシリッジテクニック
2	共同動作 フォーハンドデッドデンティストリー バキュームテクニック スリーウェイシリッジテクニック
3	共同動作 フォーハンドデッドデンティストリー バキュームテクニック スリーウェイシリッジテクニック
4	共同動作 フォーハンドデッドデンティストリー バキュームテクニック スリーウェイシリッジテクニック
5	共同動作 フォーハンドデッドデンティストリー バキュームテクニック スリーウェイシリッジテクニック
6	共同動作 フォーハンドデッドデンティストリー バキュームテクニック スリーウェイシリッジテクニック
7	歯科診療で扱う歯科材料の補助
8	歯科診療で扱う歯科材料の補助
9	歯科診療で扱う歯科材料の補助
10	歯科診療で扱う歯科材料の補助
11	歯科診療で扱う歯科材料の補助
12	歯科診療で扱う歯科材料の補助
13	歯科診療で扱う歯科材料の補助
14	歯科診療で扱う歯科材料の補助
15	歯科診療で扱う歯科材料の補助
16	歯科診療で扱う歯科材料の補助

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	歯科診療補助演習 I-B					担当者名		中島 紀子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							70				

回数	授 業 計 画
17	歯科診療で扱う歯科材料の補助
18	歯科診療で扱う歯科材料の補助
19	歯科診療で扱う歯科材料の補助
20	歯科診療で扱う歯科材料の補助
21	歯科診療で扱う歯科材料の補助
22	歯科診療で扱う歯科材料の補助
23	歯科診療で扱う歯科材料の補助
24	総復習 まとめ①
25	歯科診療で扱う歯科材料の補助
26	歯科診療で扱う歯科材料の補助
27	歯科診療で扱う歯科材料の補助
28	歯科診療で扱う歯科材料の補助
29	歯科診療で扱う歯科材料の補助
30	歯科診療で扱う歯科材料の補助
31	歯科診療で扱う歯科材料の補助 まとめ②
32	ラバーダム防湿
33	ラバーダム防湿
34	ラバーダム防湿
35	ラバーダム防湿

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科診療補助論Ⅱ					担当者名		井上 真紀				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									30			
授業概要	歯科衛生士の診療補助は診療所の中だけでなく、病院内、高齢者施設内など多岐にわたる。また、歯科診療所においても全身疾患を抱えている患者は少なくはない。そのため、歯科診療補助を行うにあたり、全身疾患を抱える患者に対して必要な知識および緊急時に対応できるよう知識を身につける。さらに、臨床実習に向けて習得すべき技術であるエックス線撮影の補助の演習を行う。											
到達目標	①エックス写真撮影の補助を理解できる ②各全身疾患の概要や口腔所見の特徴と診療での注意点を説明できる											
成績評価	期末テスト、課題の提出状況、授業態度や出席率も評価対象とする。											
その他	井上 真紀（大学病院において歯科医師として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	エックス写真撮影補助（講義）
2	エックス写真撮影補助（演習）模型
3	エックス写真撮影補助（演習）相互①
4	エックス写真撮影補助（演習）相互②
5	エックス写真撮影補助（演習）相互③
6	エックス写真撮影補助（演習）相互④
7	エックス写真撮影補助（演習）相互⑤
8	エックス写真撮影補助（演習）相互⑥
9	エックス写真撮影補助（演習）相互⑦
10	エックス写真撮影補助（演習）相互⑧
11	主な全身疾患とその対応（代謝・内分泌疾患、消化器・循環器疾患）
12	主な全身疾患とその対応（血液・呼吸器疾患・腎疾患）
13	主な全身疾患とその対応（免疫・感染症、神経系疾患）
14	主な全身疾患とその対応（産科・婦人科疾患、がん）
15	周術期における歯科診療の補助 歯科訪問診療における対応

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○						
授業科目名	歯科診療補助演習Ⅱ					担当者名	中島 紀子、下野 あゆみ				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	後期の臨地臨床実習を見据え、歯科臨床につながるより実践的な診療補助の演習を行う。										
到達目標	①口腔内写真の撮影と管理を実施できる②各治療時の手順に沿った器材を準備することができる。 ③ポリクラウンを用いて暫間被覆冠（上顎右側1）の作製ができる（模型上）③コンポジットレジン修復（模型上：Ⅱ級、Ⅴ級窩洞）の診療補助ができる④乳歯冠作製時の診療補助ができる（模型上：下顎右側E）⑤セメント除去ができる（模型上）										
成績評価	実技チェック 筆記試験（確認テスト含む） 課題・提出物 出席状況										
その他	中島紀子（病院において歯科衛生士として勤務）/下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	イラストと写真でわかる 歯科材料の基礎 第4版	竹澤保政 監著	永末書店

回数	授業計画										
1	画像検査 口腔内写真撮影【下野】										
2	画像検査 口腔内写真撮影【下野】 / 歯内療法時の診療補助【中島】										
3	画像検査 口腔内写真撮影【下野】 / 歯内療法時の診療補助【中島】										
4	画像検査 口腔内写真撮影【下野】 / 歯内療法時の診療補助【中島】										
5	画像検査 口腔内写真撮影【下野】 / 歯内療法時の診療補助【中島】										
6	画像検査 口腔内写真撮影【下野】 / 歯内療法時の診療補助 実技チェック【中島】										
7	画像検査 口腔内写真撮影【下野】 / 歯内療法時の診療補助 実技チェック【中島】										
8	切削器具【下野】 / 口腔外科治療時の診療補助【中島】										
9	切削器具【下野】 / 口腔外科治療時の診療補助【中島】										
10	口腔外科治療時の診療補助 暫間修復材の補助 TEK作製【中島】										
11	口腔外科治療時の診療補助 暫間修復材の補助 TEK作製【中島】										
12	口腔外科治療時の診療補助 暫間修復材の補助 TEK作製【中島】										
13	口腔外科治療時の診療補助 暫間修復材の補助 TEK作製【中島】										
14	口腔外科治療時の診療補助 実技チェック【中島】										
15	口腔外科治療時の診療補助 実技チェック【中島】										
16	形成歯冠修復の補助 コンポジットレジン修復実習（窩洞と隔壁）【中島】										

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 7年度 歯科衛生学科							
授業科目名	歯科診療補助演習Ⅱ			担当者名	中島 紀子、下野 あゆみ						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								80			

回数	授 業 計 画										
17	形成歯冠修復の補助 コンポジットレジン修復実習（窩洞と隔壁） 【中島】										
18	形成歯冠修復の補助 コンポジットレジン修復実習（窩洞と隔壁） 【中島】										
19	形成歯冠修復の補助 コンポジットレジン修復実習（窩洞と隔壁） 【中島】										
20	小児/矯正 講義 【中島】										
21	小児/矯正 講義 【中島】										
22	小児歯科治療時の診療補助（乳歯冠作製） 矯正器具 【中島】										
23	小児歯科治療時の診療補助（乳歯冠作製） 矯正器具 【中島】										
24	小児歯科治療時の診療補助（乳歯冠作製） 矯正器具 【中島】										
25	小児歯科治療時の診療補助（乳歯冠作製） 矯正器具 【中島】										
26	矯正器具トレーセッティングテスト 実技チェック 【中島】										
27	矯正器具トレーセッティングテスト 実技チェック 【中島】										
28	仮着仮封 セメント除去 【中島】										
29	仮着仮封 セメント除去 【中島】										
30	仮着仮封 セメント除去 【中島】										
31	仮着仮封 セメント除去 【中島】										
32	確認テスト（筆記） 【中島】										
33	歯周パックの取り扱い 【中島】 ラバーダム防湿（相互） 【下野】 基礎実習室										
34	歯周パックの取り扱い 【中島】 ラバーダム防湿（相互） 【下野】 基礎実習室										
35	歯周パックの取り扱い 【中島】 ラバーダム防湿（相互） 【下野】 基礎実習室										
36	歯周パックの取り扱い 【中島】 ラバーダム防湿（相互） 【下野】 基礎実習室										
37	臨床実習実技チェック 【中島】 歯肉圧排・連合印象（相互） 【下野】 基礎実習室										
38	臨床実習実技チェック 【中島】 歯肉圧排・連合印象（相互） 【下野】 基礎実習室										
39	臨床実習実技チェック 【中島】 歯肉圧排・連合印象（相互） 【下野】 基礎実習室										
40	臨床実習実技チェック 【中島】 歯肉圧排・連合印象（相互） 【下野】 基礎実習室										

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
					○		令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	歯科診療補助論Ⅲ					担当者名		中島 紀子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
											30	
授業概要	歯科診療補助論に関するより実践的な講義を行う											
到達目標	歯科臨床の診療補助に必要なより実践的な知識を習得できる											
成績評価	期末試験（マークシート）											
その他	中島 紀子（大学病院にて歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画
1	歯科診療における基礎知識
2	歯科診療における基礎知識
3	歯科診療における基礎知識
4	歯科診療における基礎知識
5	歯科臨床と診療補助
6	歯科臨床と診療補助
7	歯科臨床と診療補助
8	歯科臨床と診療補助
9	歯科臨床と診療補助
10	歯科臨床と診療補助
11	歯科臨床と診療補助
12	歯科臨床と診療補助
13	口腔機能管理
14	口腔機能管理
15	口腔機能管理

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科診療補助演習Ⅲ					担当者名		中島 紀子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
										20		
授業概要	漂白法（ホワイトニング）と口腔機能管理についての演習を行う。											
到達目標	①漂白法の特徴を説明できる。②漂白法の手順に沿った器材を準備することができる。③口腔機能管理の種類とその評価方法を説明できる。④摂食嚥下リハビリテーションとのつながりを理解できる											
成績評価	筆記テスト 出席状況、授業態度（身だしなみ含む）、課題・提出物											
その他	中島 紀子（病院において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	イラストと写真でわかる 歯科材料の基礎 第4版	竹澤保政 監著	永末書店

回数	授業計画
1	口腔機能管理 1 訪問診療実習の振り返り
2	口腔機能管理 2 訪問診療実習の振り返り
3	漂白法 1
4	漂白法 2
5	漂白法 3
6	漂白法 4
7	漂白法 5
8	漂白法 6
9	口腔機能管理 3
10	口腔機能管理 4

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	歯科材料学					担当者名		池田 弘				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							20					
授業概要	歯科臨床では、多くの種類の歯科材料を取り扱う。それぞれの歯科材料は、複合材料、金属、セラミックスなど様々な種類があり、その特徴を理解することは、適切な取り扱いに必要不可欠である。歯科材料学では、歯科衛生士に必要とされる歯科材料の基礎知識について学ぶ。											
到達目標	①歯科材料の一般的特徴を説明できる。②印象材の種類と適応例を説明できる。③模型用材料として使用されるものを説明できる。④合着材・接着材の種類と成分および特性を説明できる。⑤成形修復材、仮封材およびワックスの種類と用途を説明できる。⑥歯科で使用する合金の種類と用途を説明できる。⑦セラミックスについて概説できる。											
成績評価	期末試験、レポート（小試験含む）、出席と授業態度により評価する。											
その他	池田 弘（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科材料	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	イラストと写真でわかる歯科材料の基礎	監著 竹澤保政	永末書店

回数	授業計画
1	歯科材料の基礎知識
2	歯科衛生に関わる材料
3	印象材
4	模型用材料
5	合着材・接着材
6	成形修復材
7	暫間修復材と仮着用セメント
8	ワックス、金属
9	セラミックス
10	その他の歯科材料、まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	医療事務論					担当者名		五十嵐 比奈子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
										20		
授業概要	社会保障制度における医療保険の仕組みを理解し、歯科医療行為に対する保険適用となる診療報酬の基礎を学修する。また歯科治療の流れを理解し、診療録に基づいた診療報酬の算定、患者負担金の計算を行う。											
到達目標	医療保険制度のしくみについて説明することができる。 病名と歯科診療の関係やカルテへ記載する用語を理解することができる。 診療行為に対する点数算定と患者負担金の計算をすることができる。											
成績評価	期末試験により評価を行う。											
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	医療保険制度のしくみ
2	歯科点数表総論
3	歯科衛生士に関する項目 歯周治療
4	日常臨床症例 充填
5	日常臨床症例 インレー
6	日常臨床症例 歯内治療
7	日常臨床症例 歯科修復（クラウン）
8	日常臨床症例 欠損補綴（ブリッジ）
9	日常臨床症例 欠損補綴（有床義歯）
10	保険診療外の項目（自費材料、ホワイトニングなど）

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	看護学					担当者名		杉山 恵子、出光 真弓				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数		前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	看護の概念、歯科衛生士に必要な看護技術や看護業務について学ぶ。											
到達目標	①看護の概念を理解できる ②歯科衛生士に必要な看護技術・業務を説明できる。											
成績評価	期末試験により評価する。											
その他	杉山恵子（病院において看護師として勤務）/出光 真弓（病院において看護師として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための看護学大意 第4版	全国私立歯科大学・歯学病院看護部長会編集	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	看護の歴史・看護の定義
2	対象の理解（1）
3	看護技術（1）コミュニケーション
4	看護技術（2）バイタルサイン
5	看護技術（3）演習（バイタルサイン測定・コミュニケーション）
6	看護技術（4）摂食・その他の看護技術（感染防止等）
7	患者の安全と安楽（1）医療安全
8	患者の安全と安楽（2）患者の安楽
9	対象の理解（2）
10	地域医療活動における歯科衛生士の役割

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	臨床検査法					担当者名		井上 真紀				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								20				
授業概要	臨床検査によって、全身のさまざまな状態を客観的に把握することができる。全身疾患と歯科との関係は密接であり、それぞれの検査が意味することやデータの読み方について理解する必要がある。とりわけ社会の高齢化が進んでおり、歯科治療のリスクを評価することや、治療中の患者を正確に観察することも求められている。また、歯科ならではの検査もあり、口腔状態を記録するためには必須のものである。											
到達目標	①臨床検査の解釈と歯科衛生士の役割を説明できる。②生理機能検査を説明できる。 ③血液学的検査を説明できる。④感染症、肝機能、腎機能の検査を説明できる。 ⑤糖尿病、代謝・内分泌疾患、病理学的検査を説明できる。⑥口腔領域の臨床検査を説明できる。											
成績評価	期末試験により評価する。											
その他	井上 真紀（大学病院において歯科医師として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 臨床検査	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	ガイダンス、臨床検査の意義、種類
2	生体検査1
3	生体検査2、検体検査1
4	検体検査2
5	検体検査3
6	口腔の検査1
7	口腔の検査2、摂食嚥下の検査
8	全身疾患と歯科1
9	全身疾患と歯科2
10	まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	臨地・臨床実習 I					担当者名		錦織 亜矢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				8	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									360			
授業概要	1年次で習得した学習内容を応用し、現場（地域社会）での歯科衛生士の業務内容を把握する。歯科診療所での、1日の流れや症例を学び、自ら向上する態度、コミュニケーションを身につける。											
到達目標	実習目標に同じ											
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。											
その他	錦織亜矢（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
① 実習項目および実習期間	<p>(1) 歯科診療所</p> <p>11月～翌年3月</p>
② 実習の目標	<p>(1) 歯科診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健を担う専門職として必要な知識を身につける。 ・臨床の場にいる歯科衛生士の役割を理解する。 ・対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。 ・コミュニケーション能力を身につける。 ・自己を客観的に評価し、自ら向上する態度を身につける。

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	臨地・臨床実習 I					担当者名		錦織 亜矢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				8	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									360			
授業概要	1年次で習得した学習内容を応用し、現場（地域社会）での歯科衛生士の業務内容を把握する。歯科診療所での、1日の流れや症例を学び、自ら向上する態度、コミュニケーションを身につける。											
到達目標	実習目標に同じ											
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。											
その他	錦織亜矢（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
	<p>実習の内容</p> <p>【歯科診療所】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人としての基本姿勢 2. 歯周病予防処置 3. う蝕予防処置 4. 歯科保健指導 5. 診療現場での対応 <ul style="list-style-type: none"> ・チェアサイドでのアシスタント ・歯科材料の取扱い ・医療安全管理 6. 歯科診療補助 <ul style="list-style-type: none"> ・保存診療時の診療補助 ・補綴治療時の診療補助 ・口腔外科治療時の診療補助 ・歯科麻酔時の診療補助 ・矯正治療時の診療補助 ・小児歯科治療時の診療補助 ・高齢者歯科治療時の診療補助 ・エックス線写真撮影時の診療補助

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ					担当者名		下野 あゆみ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				12	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										540	
授業概要	口腔衛生の専門職として、歯科衛生士に求められる、責任感、積極性、協調性、判断力を高め、実践で養う。 臨地実習では多職種連携の意義、歯科衛生士のかかわり方を学ぶ。										
到達目標	実習目標に同じ										
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。										
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
	<p>① 実習項目および実習期間</p> <p>(1) 九州歯科大学 6月 2週間</p> <p>(2) 保育園実習 6月～7月</p> <p>(3) 歯科診療所 4月～10月</p> <p>(4) 歯科訪問診療 4月～5月</p>

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ					担当者名		下野 あゆみ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				12	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										540	

回数	授 業 計 画
	<p>② 実習の目標</p> <p>(1) 九州歯科大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各専門科で行われる歯科診療内容や特色を理解する。 ・一般開業医で行われる歯科診療との違いを理解する。 ・大学病院の歯科衛生士の役割を理解する。 ・見学を主とした臨床実習を実施することで理解を深める。 ・全身疾患との関連や全身管理に考慮した歯科診療補助の重要性を理解する。 ・臨床現場の現状・実情を知り、卒業後の進路の選択肢の視野を広げる。 <p>(2) 保育園実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療や保健の実践と結びつけながら理解を深め実践能力を養う。 ・対象者（幼児）の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。 ・多職種と協働する能力を身につける。 ・これから萌出する永久歯、特に第一代大臼歯へのむし歯予防対策の指導を行う。 <p>(3) 歯科診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健を担う専門職として必要な知識を身につける。 ・臨床の場にいる歯科衛生士の役割を理解する。 ・対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。 ・コミュニケーション能力を身につける。 ・自己を客観的に評価し、自ら向上する態度を身につける。 <p>(4) 歯科訪問診療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生業務を修得するために歯科訪問診療の場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ					担当者名		下野 あゆみ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				12	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										540	

回数	授 業 計 画
	<p>(3) 歯科診療所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人としての基本姿勢 2. 歯周病予防処置 3. う蝕予防処置 4. 歯科保健指導 5. 診療現場での対応 <ul style="list-style-type: none"> ・チェアサイドでのアシスタント ・歯科材料の取扱い ・医療安全管理 6. 歯科診療補助（各診療科目に応じる） <p>(4) 歯科訪問診療</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人としての基本姿勢 2. 在宅および高齢者施設など地域における歯科訪問診療に必要な知識、態度、技術を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・口腔機能状態・摂食嚥下状態の検査・評価 ・口腔機能低下症・摂食嚥下障害の原因と症状 ・口腔機能訓練・摂食嚥下リハビリテーション ・摂食嚥下機能に応じた食事形態 ・チーム医療に関わる関連職種と歯科衛生士との連携 ・対象者に応じた口腔健康管理（口腔衛生管理および口腔機能管理）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ					担当者名		下野 あゆみ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				12	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										540	

回数	授 業 計 画										
<p>③ 実習の内容</p> <p>(1) 九州歯科大学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人としての基本姿勢 2. 歯周病予防処置 3. 歯科診療補助 <ul style="list-style-type: none"> ・保存治療時の診療補助 ・補綴治療時の診療補助 ・口腔外科治療時の診療補助 ・歯科麻酔時の診療補助 ・矯正治療時の診療補助 ・小児歯科治療時の診療補助 ・高齢者歯科治療時の診療補助 ・障害者歯科治療時の診療補助 ・エックス線写真撮影時の診療補助 <p>(2) 保育園実習</p> <p>歯や口に関心を持ち、基本的な生活習慣として歯・口の清掃や、間食の規則性を守り、好き嫌がなく、よく噛んで食べることができるように指導する。(動画撮影撮影、DVD製作)</p>											

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
					○							
授業科目名	総合講義					担当者名		邵仁浩、大楠弘通、松尾拓、郡司掛香織、久保田浩三、藤元政考、引地尚子、鶴島弘基、森川和政、井上真紀、柿木保明、下野 あゆ				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
											80	
授業概要	国家試験にむけた基礎科目、臨床科目の総復習											
到達目標	基礎科目を中心に国家試験に対応できる知識を身につけることができる											
成績評価	2回の試験で評価する											
その他	邵仁浩（大学病院において歯科医師として勤務）/大楠弘通（大学病院において歯科医師として勤務）/松尾拓（実務経験なし）/郡司掛香織（大学病院において歯科医師として勤務）/久保田浩三（大学病院において歯科医師として勤務）/藤元政考（大学病院において歯科医師として勤務）/引地尚子（実務経験なし）/鶴島弘基（大学病院において歯科医師として勤務）/森川和政（大学病院において歯科医師として勤務）/井上真紀（大学病院において歯科医師として勤務）/柿木保明（大学病院において歯科医師として勤務）/下野 あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	徹底分析！ 年度別 歯科衛生士国家試験問題集 2026年版	歯科衛生士国家試験対策検討会	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画
1	国家試験対策
2	国家試験対策
3	国家試験対策
4	国家試験対策
5	国家試験対策
6	国家試験対策
7	国家試験対策
8	国家試験対策
9	国家試験対策
10	国家試験対策
11	国家試験対策
12	国家試験対策
13	国家試験対策
14	国家試験対策
15	国家試験対策
16	国家試験対策

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	総合講義					担当者名		<small> 郡仁浩、大楠弘通、松尾孤、郡司掛香織、 久保田浩三、藤元政考、引地尚子、鶴島弘基、 森川和政、井上真紀、柿木保明、下野 あゆ </small>			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											80

回数	授 業 計 画
17	国家試験対策
18	国家試験対策
19	国家試験対策
20	国家試験対策
21	国家試験対策
22	国家試験対策
23	国家試験対策
24	国家試験対策
25	国家試験対策
26	国家試験対策
27	国家試験対策
28	国家試験対策
29	国家試験対策
30	国家試験対策
31	国家試験対策
32	国家試験対策
33	国家試験対策
34	国家試験対策
35	国家試験対策
36	国家試験対策
37	国家試験対策
38	国家試験対策
39	国家試験対策
40	国家試験対策

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
授業科目名	接遇					担当者名		徳永 順子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	社会人としての心構え、及び基本コンタクトである接遇・ビジネスマナーを学ぶ											
到達目標	社会人としての心構え、及び基本コンタクトである接遇・ビジネスマナーを身につけることができる											
成績評価	期末試験により評価											
その他	徳永 順子 (実務経験なし)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版 医療の接遇 基本マニュアル&演習	医療タイムス社 教育研修事業部 編	医療タイムス社
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション①
2	オリエンテーション②
3	EQ 感情・心のエネルギー
4	社会人としての身だしなみ
5	立ち居振る舞い 実践含む
6	CS お客様（患者様）満足
7	双方向のコミュニケーション（聞く・話す・認めるスキル）
8	苦情処理（基本・対応のポイント）
9	確認テスト
10	テキスト医療の接遇①
11	テキスト医療の接遇②
12	テキスト医療の接遇③
13	テキスト医療の接遇④
14	自己分析・フォローアップ
15	総括（テスト対策含む）

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 7年度 歯科衛生学科					
	授業科目名						担当者名		藤井 航			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
授業概要	要介護高齢者や障害者における摂食嚥下のメカニズムについて基本的知識を習得したうえで、摂食嚥下障害のさまざまな病態を学修する。 歯科衛生士として、摂食嚥下障害を有する患者へ摂食嚥下リハビリテーションを実践するための基礎として、アセスメント、スクリーニング、精密検査、訓練方法、口腔衛生管理、食事支援の知識を学修する。											
到達目標	①摂食嚥下リハビリテーションの実際と歯科衛生士の役割について説明できる。②摂食嚥下リハビリテーションにおける口腔健康管理について説明できる。 ③咬合及び咀嚼機能の管理と評価を説明できる。④栄養スクリーニングと栄養アセスメントについて説明できる。⑤摂食嚥下訓練について説明できる。											
成績評価	期末試験、その他（遅刻、欠席、授業態度、実習態度などで減点）											
その他	藤井 航（大学病院において歯科医師として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版	日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	摂食嚥下リハビリテーション総論
2	オーラルフレイルと口腔機能低下症
3	摂食嚥下障害患者の評価、スクリーニング
4	嚥下造影検査（VF）
5	内視鏡下嚥下機能検査（VE）
6	摂食嚥下リハビリテーションの実際
7	間接訓練（実習）
8	直接訓練（実習）
9	摂食嚥下障害患者の口腔衛生管理
10	摂食嚥下障害と栄養管理、嚥下調整食

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和7年度 歯科衛生学科					
							担当者名		引地 尚子			
授業科目名	隣接医療					1年次		2年次		3年次		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数	1				授業時間数				20			
授業概要	歯科衛生士として患者様に接する際に知っていなければならない医学的な知識（病態、処置に関する事項等）											
到達目標	①各疾患の分類、原因および治療法について概説できる。 ②各疾患の口腔との関連について説明できる。											
成績評価	授業態度、取り組み、発表の得点 期末テストの点数により評価する											
その他	引地 尚子（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック	橋本 賢二・増本 一真	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画
1	代謝・内分泌疾患
2	消化器疾患
3	器疾患・血液疾患
4	呼吸器疾患
5	腎・泌尿器疾患
6	免疫疾患・膠原病
7	感染症
8	神経疾患・精神疾患
9	がん
10	妊娠、産科・婦人科疾患

